

第1部
めざすとちぎの姿

とちぎの強み

I

時代の潮流とともにとちぎの課題

II

とちぎの強み

III

人口の将来展望

IV

各地域の特性

V

めざすとちぎの将来像

1 恵まれた立地環境

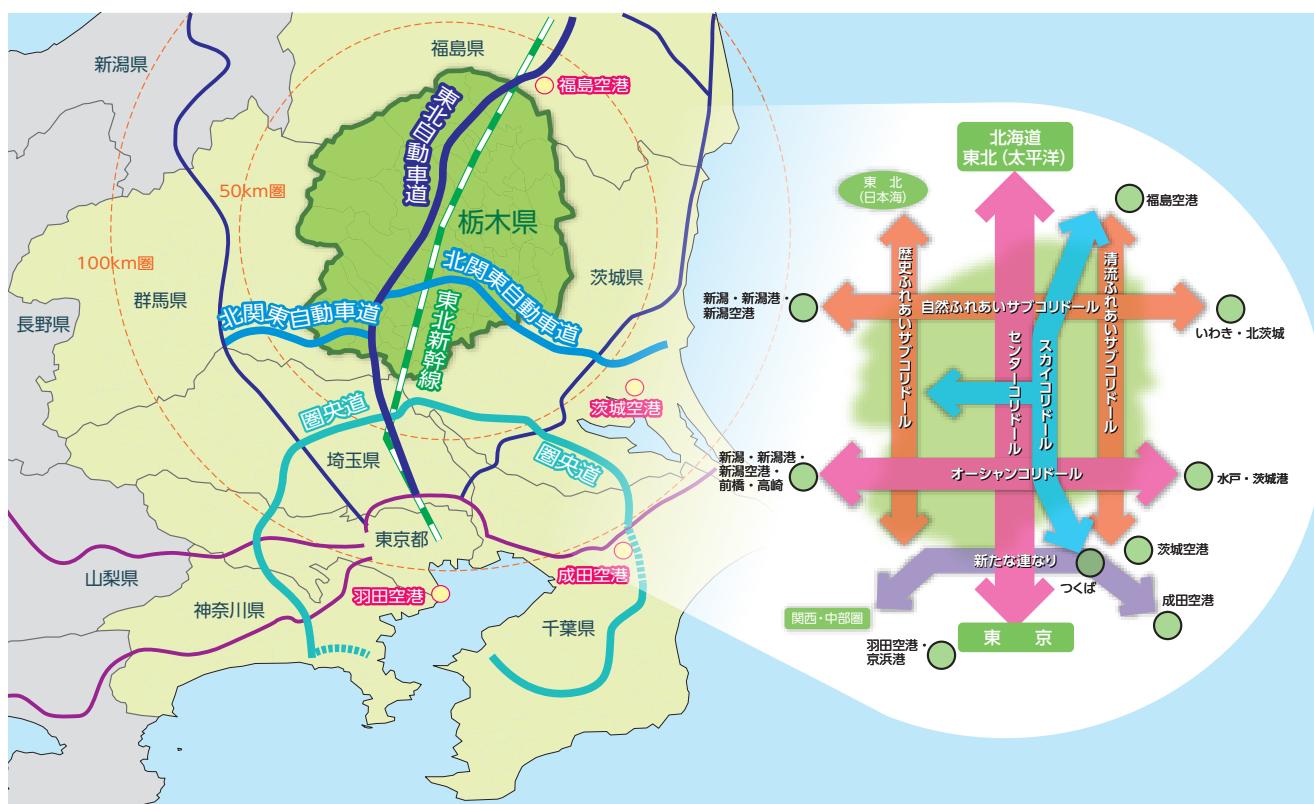
栃木県は、関東地方北部に位置し、世界有数の経済・文化・研究機能を有する東京圏に60～160km圏と近接しており、日常の生活や経済活動に利便性や優位性の高い立地環境にあります。

また、東北自動車道・東北新幹線などの南北軸と、北関東自動車道などの東西軸が交差する結節点に位置し、交通の要衝としての地理的優位性も有しています。今後、圏央道の全線開通や北海道新幹線の延伸、リニア中央新幹線の開業といった広域交通ネットワークの整備が進むことなど、本県を中心には区域的な拠点がつながるコリドールネットワークが強化されることで、国内外との交流・連携が一層促進され、人・モノの交流の要所としての役割が高まると考えられます(図表1)。

さらに、本県は関東地方最大の面積を有し、県央・県南部に広がる平野部や、鬼怒川・渡良瀬川・那珂川をはじめとする河川など、暮らしや産業の基盤となる土地や水資源にも恵まれています。

このほか、大規模な地震が少ない、広大で安全な県土形成や首都圏への近接性等の強みを生かし、首都直下地震など大規模災害時のバックアップ拠点として、栃木県の価値が一層高まることが期待されます。

図表1：恵まれた立地環境にある栃木県



2

雄大・多様な自然の恵みと世界に誇る歴史・文化

栃木県は、我が国を代表する日光国立公園や尾瀬国立公園、地域特色を生かした8つの県立自然公園に加え、2つのラムサール条約湿地を有するなど、雄大で多様な自然に恵まれるとともに、希少で多種多様な動植物が数多く生息・生育しており、国土や水資源の保全にも大きく貢献しています。

四季折々に表情を変える山々や清流、里山、田園も含めた豊かな自然は、訪れる人々にやすらぎや癒しをもたらす観光資源でもあり、県民はもとより、国内外から訪れる多くの人々を魅了し、全国有数の観光地である日光や那須地域の魅力のひとつにもなっています。

また、古くから東山道や奥州街道、日光街道などの主要街道が南北に通る交通の要衝であり、長い歴史の中、人や物の往来を通じて育まれ、今日まで守り伝えられてきた世界遺産をはじめとする歴史的価値の高い貴重な資源が数多く存在します。

さらに、織物や陶器などの伝統工芸品、伝統行事や伝統芸能など、本県の風土と生活の中で育まれ、継承されてきた優れた文化・技術は、県民の郷土愛や誇りを醸成するとともに、魅力や活力のある地域づくりに欠かせないものとなっています。



▲ 烏山和紙



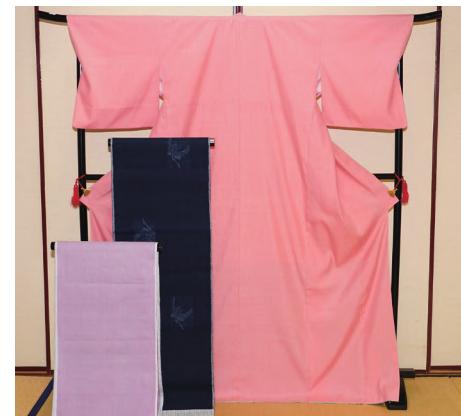
▲ 日光東照宮



▲ 日光二荒山神社



▲ 日光山輪王寺



▲ 結城紬



▲ 那珂川



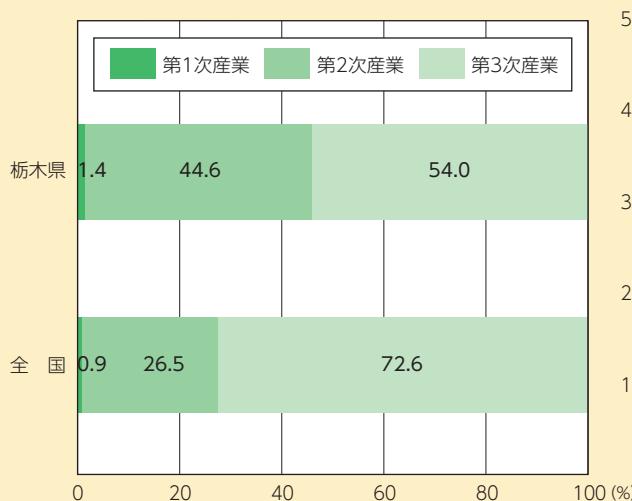
▲ 那須連山

3 活力ある産業

栃木県は、自動車、航空宇宙、医療福祉機器などを中心に、国内トップクラスのシェアを誇る企業や世界に誇れる卓越した技術と優れた製品を有する中小企業が集積した全国有数の「ものづくり県」であり、県内総生産に占める製造業の割合が高く、一人当たりの県民所得も全国上位を推移しています（図表2、図表3）。

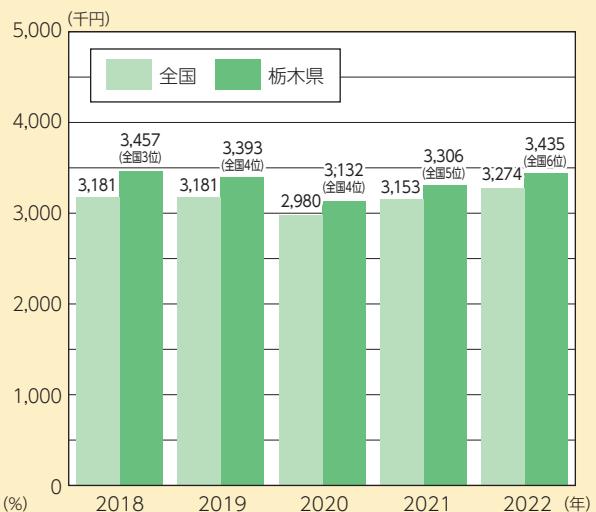
一方、今後の生産年齢人口の減少局面において、デジタル技術の導入による製造現場等のスマート化や業務効率化による生産性向上とともに、地域資源を活用した高付加価値化が促進されることで、本県産業全体の成長・発展につながることが期待されます。

図表2 県内総生産(名目)^{*}に占める各産業の構成割合



資料：内閣府「県民経済計算」(2025年12月時点)
※県内総生産(名目)の割合は輸入税・関税等を考慮していない。

図表3 県民1人当たりの所得と栃木県の全国順位



資料：内閣府「県民経済計算」(2025年12月時点)



▲ 清原工業団地



▲ 切削加工現場におけるロボットの活用